

# NEWS RELEASE

光半導体素子の生産能力増強のため  
新貝工場、新1棟建設に着工  
地鎮祭は4月5日

2016年4月4日

**浜松ホトニクス株式会社**

本社：浜松市中区砂山町 325-6

代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

当社は、光半導体素子の売上拡大に伴う後工程（組立・検査）の生産能力増強を目的として、新貝工場に新1棟の建設をします。新棟建設の地鎮祭は4月5日に執り行い、2017年2月に竣工の予定です。



#### <新1棟建設の背景>

当社は、やがて来るIoT（Internet of Things）時代に向けて提唱されている「トリリオン・センサー社会」（毎年1兆（トリリオン）個のセンサを活用する社会）への対応として、需要が拡大している光半導体製品の後工程（組立・検査工程）の生産能力を増強します。「トリリオン・センサー社会」では、FA、自動車、ヘルスケア、農業、通信、社会インフラなどに多種多様なセンサを付加し、センシングしたデータを社会や生産、生活に役立てるといふ狙いがあり、今後も各種センサの需要拡大が期待されています。

当社では、先端光技術の開発に取り組み、様々な市場にセンサとしての光半導体素子を供給しています。近年では、不可視（X線検出）画像、自動車、およびヘルスケアなどの用途における需要が拡大しています。また、センサ需要の拡大と共に、センサの実装体積を最小化する傾向となっており、薄型・小型・軽量の製品が求められてきています。

新棟では、需要が拡大している不可視画像用途の手荷物検査装置向けX線検査用素子や、自動車の衝突防止・自動エアコン・自動ライト・自動ワイパー・車内光通信用途などの受発光素子、医療機器向けのMPPC<sup>®</sup>（Multi-Pixel Photon Counter）およびヘルスケア用途のウェアラブルセンサなどの生産を行います。大量生産を前提とした生産ラインを構築し、樹脂モールドパッケージ、チップオンボードパッケージ、プリモールドパッケージなどの組立工程および検査工程を計画しています。新棟建設に伴い、既存の3号棟と合わせた新貝工場全体の生産能力を、月産400万個から月産1,000万個に増強します。

新貝工場では現1号棟（管理棟）と3号棟（製造棟）の2棟が既に稼働していますが、新棟に管理機能を統合し、老朽化が進んでいる現1号棟を撤去します。これにより、新貝工場全体の災害対策を強化し、事業継続力の強化を図ってまいります。

地鎮祭などの詳細につきましては以下の通りです。

### <地鎮祭>

式典名称 浜松ホトニクス株式会社 新貝工場 新1棟 地鎮祭  
日 時 2016年4月5日（火） 午前10時00分～  
場 所 静岡県浜松市南区新貝町1128 新貝工場3号棟南側 1棟建設予定地

### <新棟概要>

建物名称 新貝工場 1棟  
建築場所 静岡県浜松市南区新貝町1128 新貝工場3号棟南側  
建築工期 2016年4月着工、2017年2月竣工予定  
稼働予定 2017年4月  
建築構造 鉄骨造 4階建  
建物面積 建築面積 2,659㎡、延床面積 9,342㎡  
施設構成 1階 受付、組立工程（クリーンルーム クラス10,000）  
2階 組立工程（クリーンルーム クラス10,000）  
3階 製品検査・梱包工程  
4階 食堂、会議室、製造事務所  
総工費 約28億円  
収容人員 約300名  
生産品目 光半導体素子  
生産能力 月産600万個

以上



新貝工場 1棟 外観

この件に関するお問い合わせ先  
■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野末迪隆  
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル  
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:nozue-m@hq.hpk.co.jp  
時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします